

令和7年度 北上市立更木小学校 職員働き方改革アクションプラン

～ 教職員が、心身共に健康な状態で指導を行うことができるようにするために ～

更木小学校では、「北上市教職員働き方改革プラン（R7-9年度版）」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

【教職員の勤務状況】

R7年度4月の状況

- ① 月45時間以上の残業者数（2人） ② 月80時間以上の残業者（0人）
- ③ 在校等時刻が午後8時を超えたのべ教職員数（5人）
- ④ 所属教職員の月平均残業時間（約30時間）

【働き方改革を進めるうえでの課題】

- 極小規模校であるため学級事務量は少ないものの、分掌業務量が多い。
- 複式学級担任は授業の準備に時間を要する。

2 目 標 ・ 目 指 す 姿

【R7年度目標】

教職員が、心身共に健康な状態で指導を行うことができるようにする。

- 最終退勤時刻目標
教職員はできるだけ残業を減らし、退勤時刻の目標（18時30分）を設定し取り組む。
- 学校における業務改善の推進目標
業務改善の視点をもって行事・活動を振り返ることで、改善の方向性を見出す。
- 教職員のワークライフバランスを意識した働き方改革の推進目標
定時で退勤できる取組を推進する。→「マイ・ノー残業デー」の設定

3 目標・目指す姿を達成していくための具体的取組内容

○教職員の健康管理	○学校における業務改善の推進	○学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進
○ 管理職が職員へ意識的に声をかけ、思いを伝えやすい関係性を築く。 ○ 校務支援システムにより客観的に勤務時間を把握する。 ○ 従来のノー残業デーに加え、職員が、月に1度定時に退勤する日『マイ・ノー残業デー』を設定し、自身の働き方を見直す機会とする。 ○ 職員の状況に応じ、共済保険事業についての活用を推進する。	○ 行事等において、ねらいにそった内容及び日程であったか、更に簡略化できることはない等か検討を行う。 ○ 諸会議において、余裕をもった資料配付を行い、疑問点や改善点をもった状態で会議に臨むようにすると共に、終了時刻を設定し提案を簡潔に行うことを意識付ける。 ○ 時間外在校時間が45時間を超えてしまった職員に対し、業務の見直しや改善の方向性について話し合う場を設定し、改善につなげる。 ○ 定期的に安全衛生委員会を開催し、働き方改革の方向性について話し合い、実効的取り組みにつなげる。	○ 地域コーディネーターや学校運営協議会の機能を活用し、地域と一体となった教育活動を推進し教職員の負担軽減につなげる。 ○ 登下校の安全指導や見守りについては、地域・保護者の理解・協力を得て対応する。 ○ 働き方改革に向けた取組について、保護者・地域に理解いただけるよう、諸会議及び校報等で周知を図る。

令和7年5月20日 北上市立更木小学校 校長 及川 宇雄

（参考） 「北上市教職員働き方改革プラン（R7～9年度版）」（抜粋）

【策定趣旨】 ○ 働き方改革の実現により、未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】 市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

- (1) 時間外在校等時間（週休日等の部活動従事時間を含む）が月45時間 超の者を前年度実績より減少させる。
- (2) 時間外在校時間が月80時間以上のものをゼロとする。

〔・令和6年度実績（6月調査） 228人 割合 42.0%〕

〔・令和6年度実績（6月調査） 27人 割合 5.0%〕